

## 基盤

- ICT利用のプラットフォームとしてのデジタルツイン

## 統合領域

- <地域> エネルギー・交通等各種インフラ管理を統合・最適化した持続可能なスマート・シティ
- <複数領域> サービサイジングやシェアリング・エコノミーの拡大
- <複数分野> 持続可能なスマート農業の実用化（その他、健康産業、医療、災害対策、等々のスマート化）
- ICTに裏打ちされたカーボンプライシングやナッジ等による個人・企業の低炭素型の行動変容の促進

## 気候変動領域

- <緩和> 創エネ・省エネ・蓄エネのスマート制御による自然エネの自律・分散型のエネルギーシステム化
- <適応> 災害予測の精緻化・河川管理等の精緻化・最適化による被害防止
- <観測・予測> 衛星等リモートセンシング、AIによる観測・予測の精緻化

## 資源循環領域

- リアルタイム需要予測やバリューチェーン全体の最適化による省資源化・廃棄物削減
- 製品への電子タグ埋め込み等によるリユース・リサイクルの最適化、適正処理推進

## 自然共生領域

- 自動画像認識・音声認識等を活用した生物生息データ取得の自動化・市民参画の拡大
- IoT・AI等を活用したより高度なエコツーリズムの展開

## 安全確保領域

- より安全な化学物質流通システムの構築（AI等を用いた化学物質の有害性予測の高精度化）
- センシング及びモデルの精緻化による赤潮・青潮等の克服（予測のリアルタイム化・高精度化・対策の最適化）（PM2.5・光化学オキシダント汚染の克服等も同様）